

# 関係資料

平成30年4月

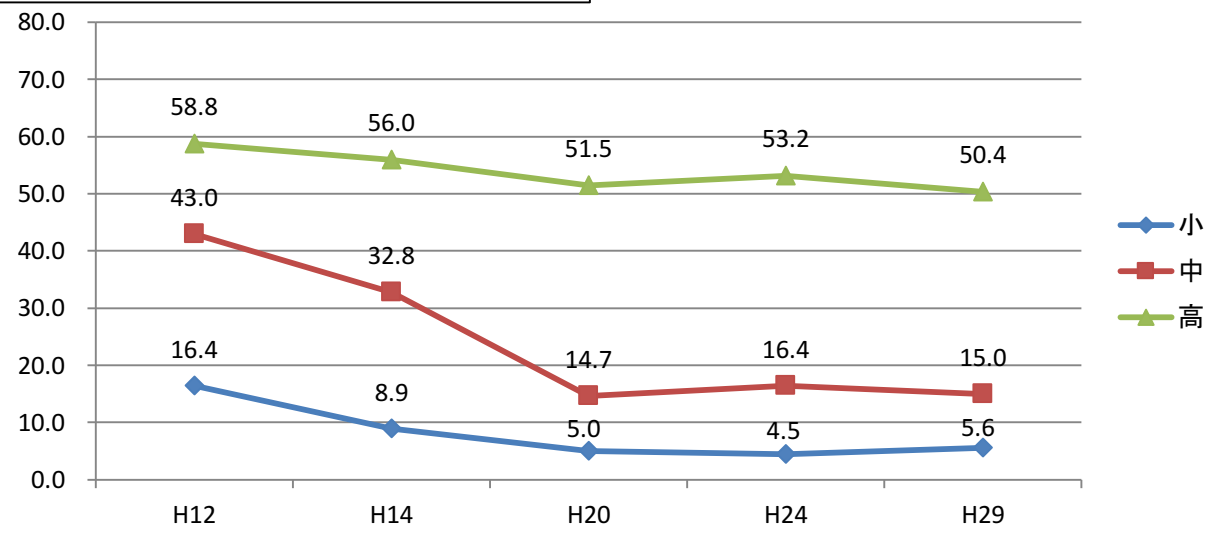
# 1. 子供の読書の現状

## ①不読率※の推移(%)

第63回学校読書調査(公益社団法人全国学校図書館協議会・株式会社毎日新聞社)

※ 1ヶ月に1冊も本を読まなかった人の割合

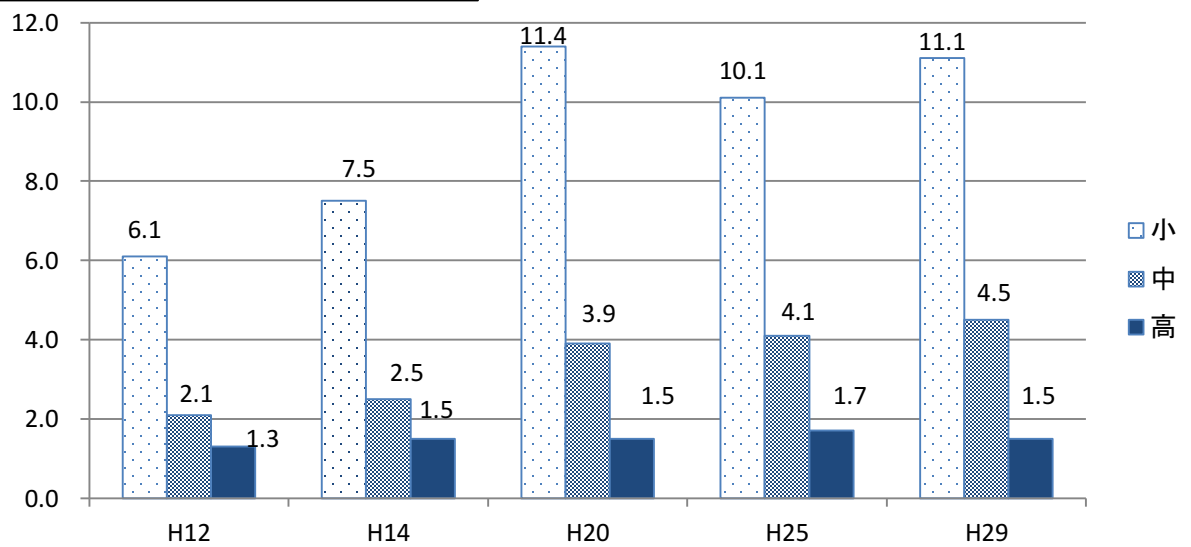
小学生, 中学生は中長期的に改善傾向, 高校生は依然として高い状況にある。



## ②1人当たり読書冊数(冊/月)

第63回学校読書調査(公益社団法人全国学校図書館協議会・株式会社毎日新聞社)

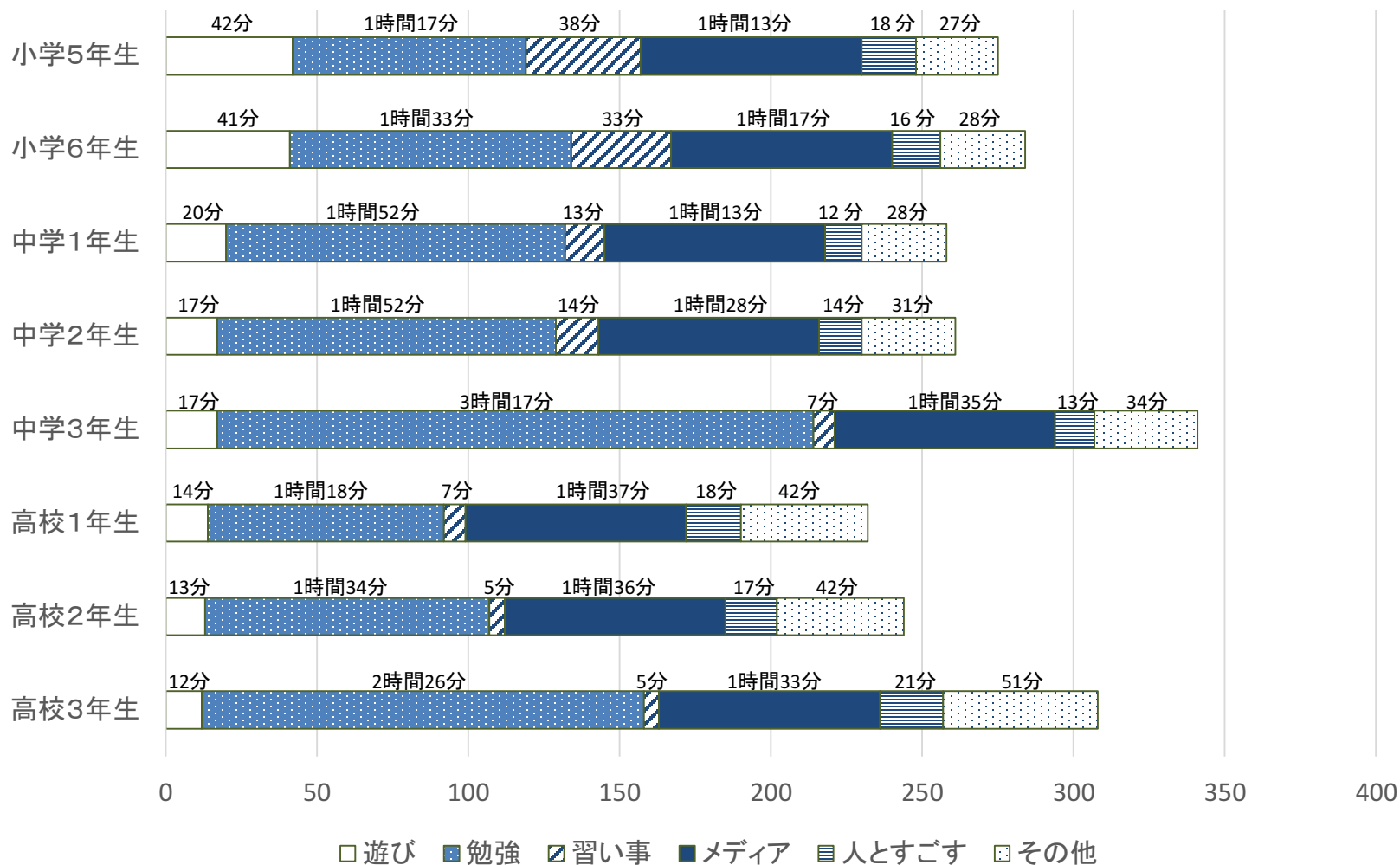
小学生, 中学生は漸増しているが, 高校生は横ばいで推移している。



### ③放課後の時間の使い方(学年別・平均時間)

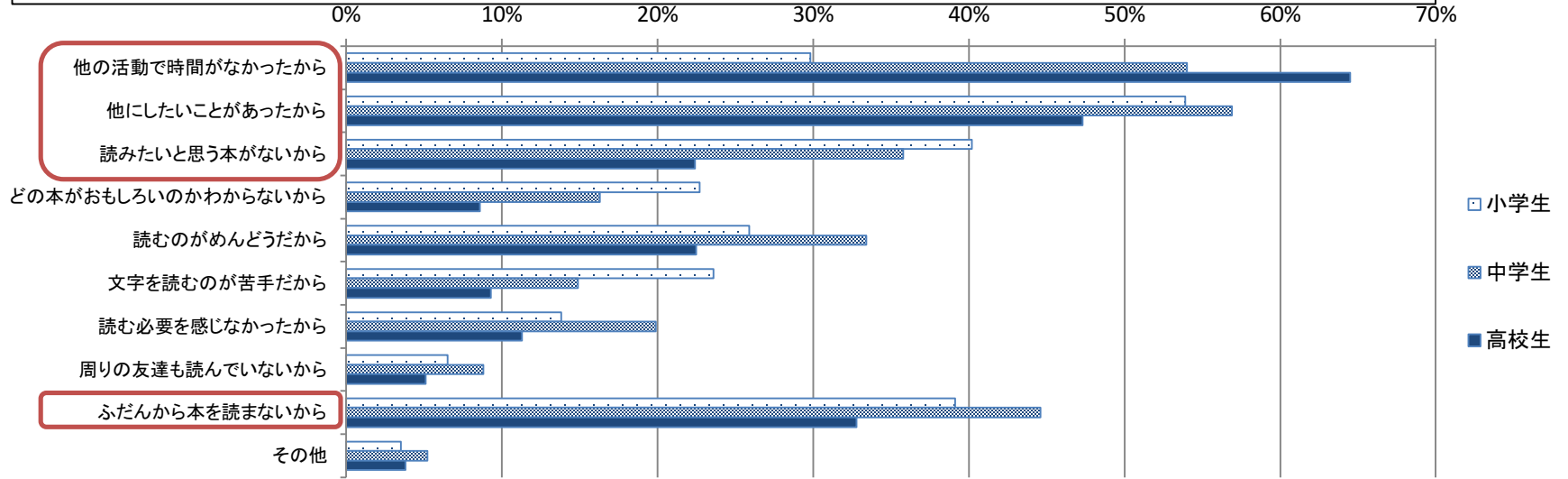
第2回放課後の生活時間調査—子どもたちの24時間—ダイジェスト版(ベネッセ教育総合研究所)

勉強する時間やメディアを利用する時間が多くを占めている。



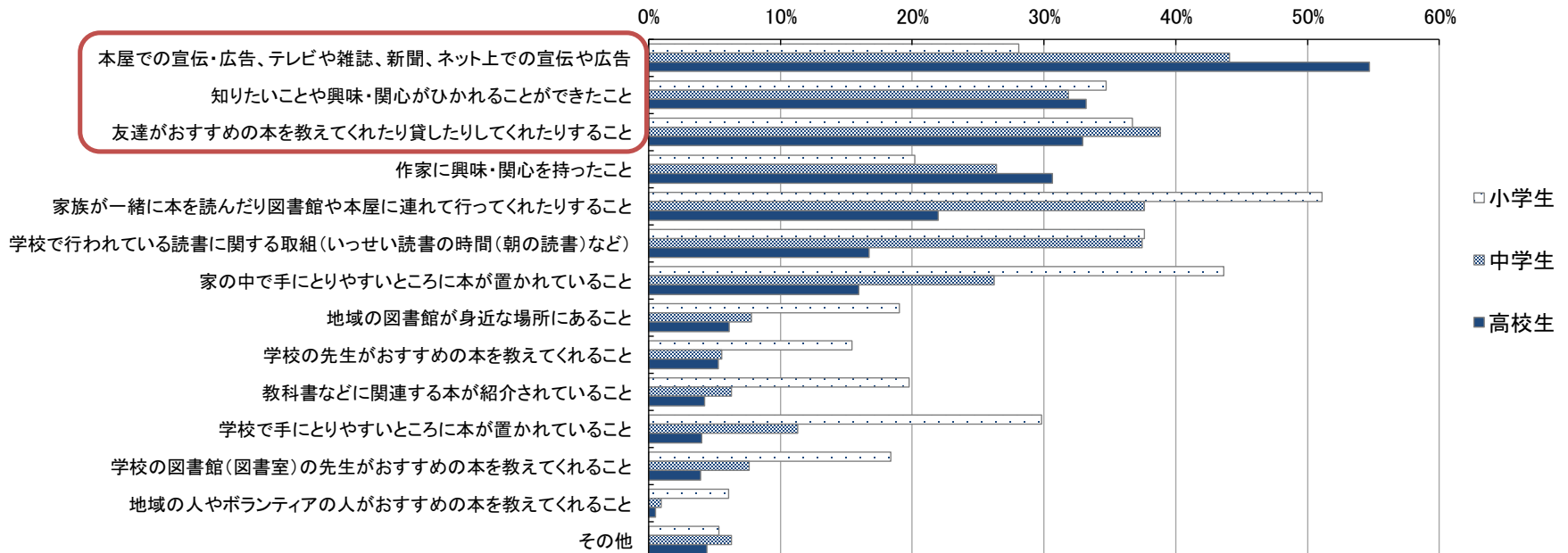
#### ④現在本をあまり読まない理由(複数回答)

「他の活動で時間がなかったから」、「他にしたいことがあったから」、「読みたいと思う本がないから」、「ふだんから本を読まないから」といった理由が多く挙げられている。



#### ⑤読書をするきっかけ

特に高校生については、「本屋での宣伝・広告、テレビや雑誌、新聞、ネット上での宣伝や広告」、「知りたいことや興味・関心がひかれることができたこと」、「友達がおすすめの本を教えてくださいたり貸しててくださいたりすること」といった理由が多く挙げられている。



# 2. 図書館

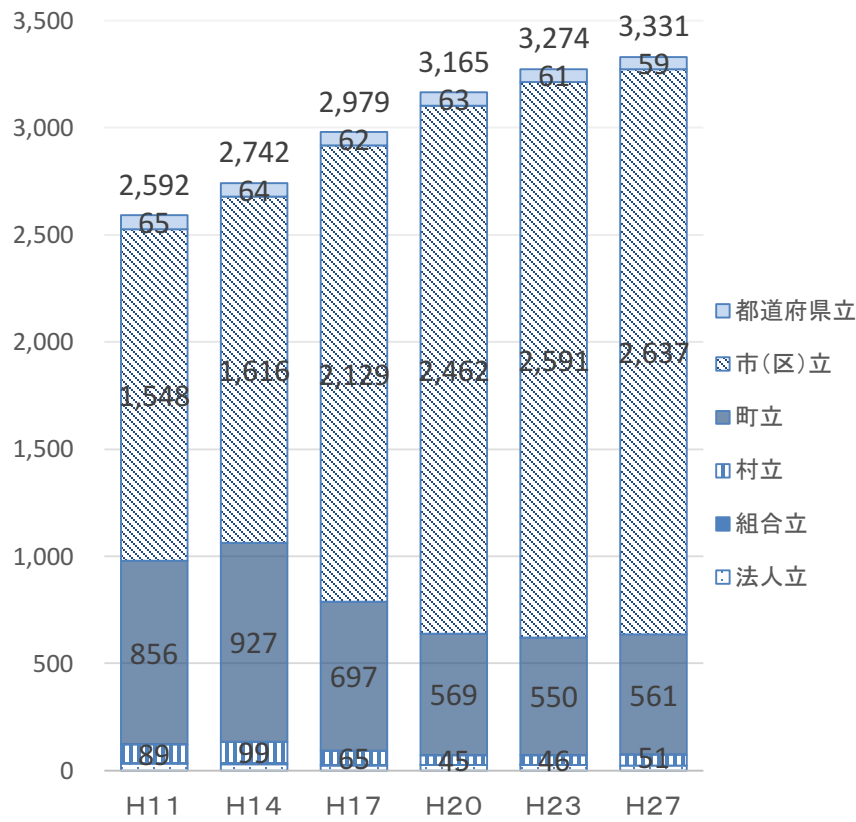
※統計名称「社会教育調査」は平成27年度から「社会教育統計」に変更。

## ①図書館の設置状況

全体数は漸増しているが、町村の設置は十分に進んでいない。

### ア) 図書館数

社会教育調査, 社会教育統計(文部科学省)



### イ) 市(区)町村立図書館の設置状況(%)

平成27年度社会教育統計(文部科学省)

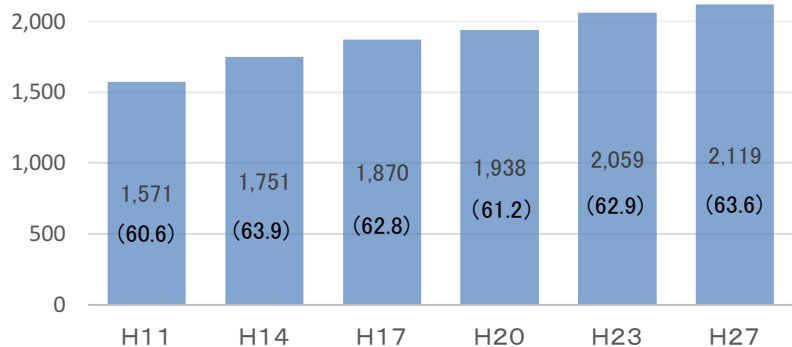
区分	設置率(%)				計	市(区)	町	村	
	計	市(区)	町	村					
全国	75.0	98.4	61.5	26.2	三重	72.4	100.0	46.7	—
北海道	55.9	97.1	51.2	—	滋賀	100.0	100.0	100.0	—
青森	55.0	80.0	59.1	12.5	京都	76.9	100.0	50.0	—
岩手	78.8	100.0	73.3	25.0	大阪	86.0	97.0	55.6	—
宮城	60.0	100.0	38.1	—	兵庫	92.7	96.6	83.3	—
秋田	72.0	100.0	44.4	33.3	奈良	61.5	100.0	73.3	8.3
山形	62.9	100.0	47.4	—	和歌山	60.0	100.0	45.0	—
福島	44.1	100.0	35.5	13.3	鳥取	94.7	100.0	100.0	—
茨城	84.1	96.9	50.0	50.0	島根	73.7	100.0	60.0	—
栃木	88.0	92.9	81.8	—	岡山	92.6	100.0	100.0	—
群馬	65.7	100.0	66.7	12.5	広島	95.7	100.0	88.9	—
埼玉	93.7	100.0	81.8	100.0	山口	89.5	100.0	66.7	—
千葉	72.2	94.6	25.0	—	徳島	79.2	100.0	66.7	100.0
東京	91.9	100.0	100.0	37.5	香川	76.5	100.0	55.6	—
神奈川	78.8	100.0	53.8	—	愛媛	80.0	100.0	55.6	—
新潟	80.0	100.0	33.3	50.0	高知	70.6	100.0	58.8	50.0
富山	100.0	100.0	100.0	100.0	福岡	86.7	100.0	80.0	—
石川	100.0	100.0	100.0	—	佐賀	75.0	90.0	60.0	—
福井	100.0	100.0	100.0	—	長崎	90.5	100.0	75.0	—
山梨	77.8	100.0	62.5	50.0	熊本	53.3	92.9	47.8	—
長野	68.8	100.0	65.2	54.3	大分	88.9	100.0	66.7	—
岐阜	81.0	100.0	68.4	—	宮崎	65.4	88.9	64.3	—
静岡	97.1	100.0	91.7	—	鹿児島	69.8	94.7	60.0	—
愛知	88.9	100.0	64.3	50.0	沖縄	61.0	100.0	72.7	31.6

※ 都道府県図書館設置率 100.0%

## ②児童室を有する図書館数

社会教育調査, 社会教育統計(文部科学省)  
( )内は割合(%)

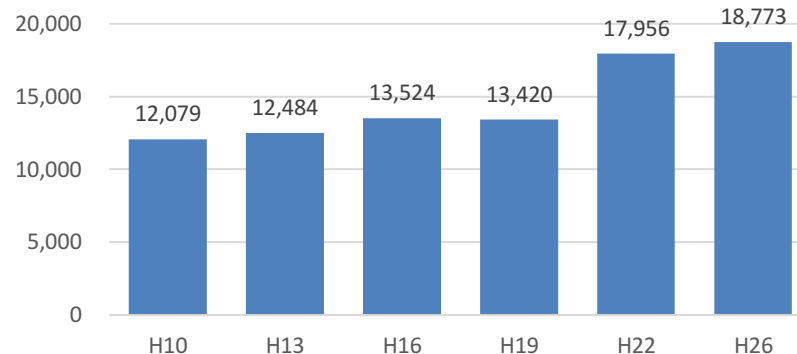
児童室を有する図書館数は増加しているが、設置割合で見ると横ばいで推移している。



## ③児童図書貸出数(万冊)

社会教育調査, 社会教育統計(文部科学省)  
発表年度の前年度間を調査

増加傾向にある。

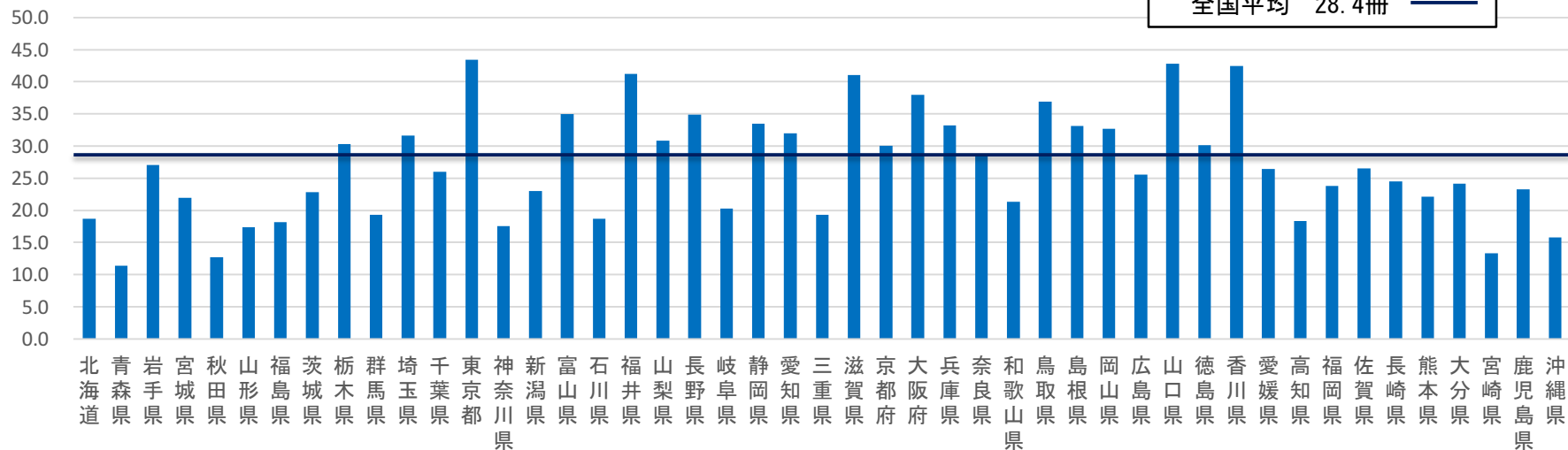


※平成20年度調査までは「児童の貸出冊数」を調査していたが、図書館のシステム化の影響により児童が借りた貸出冊数が把握できない図書館があることから、平成23年度以降の調査では「児童用図書の貸出冊数」を調査しており、単純比較はできない。

## ④都道府県別・図書館における児童1人当たりへの貸出冊数(平成26年度)(冊/年)

平成27年度社会教育統計, 平成26年度学校基本調査(文部科学省)

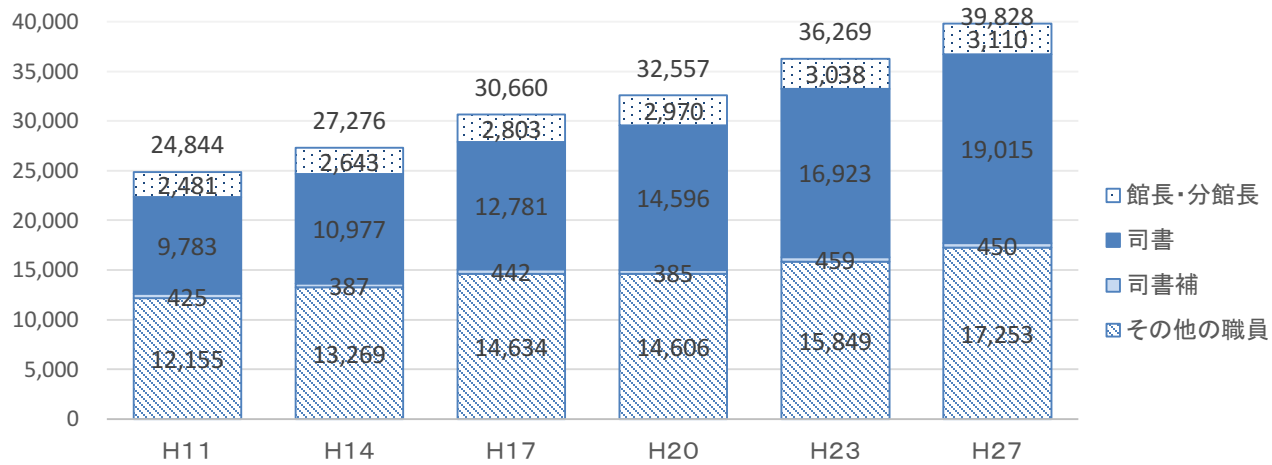
都道府県によりばらつきが見られる。



【算出方法】児童1人当たりへの貸出冊数 = 児童用図書の貸出冊数の総数(社会教育調査) ÷ 小学校の児童数(学校基本調査)

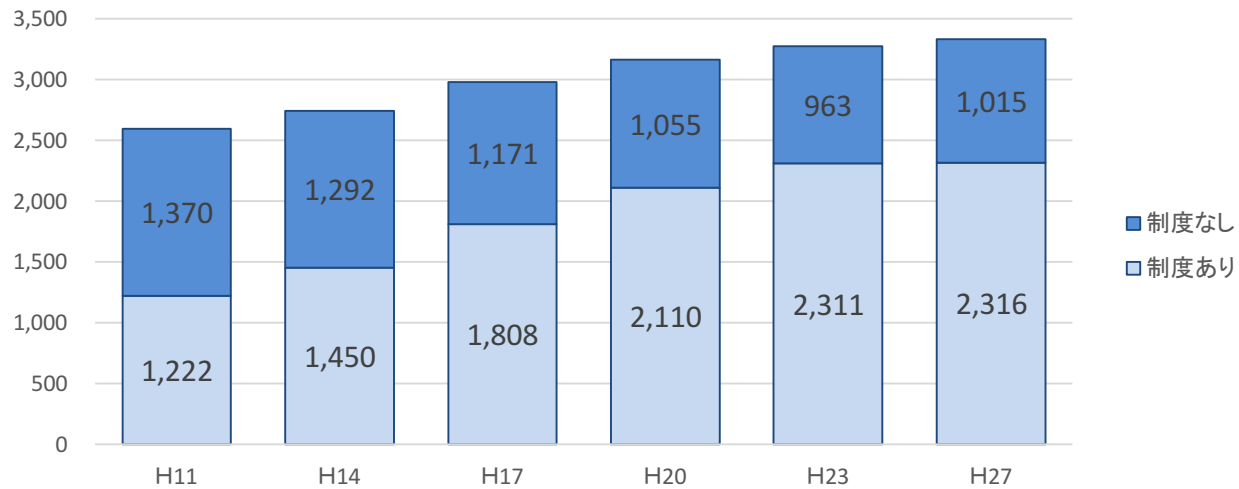
### ⑤ 図書館職員数(人)

全体の職員数は増加しており、H27はH11と比較して60%増となっている。



### ⑥ 図書館のボランティア活動登録制度の有無(図書館数)

制度を設けている図書館が漸増している。

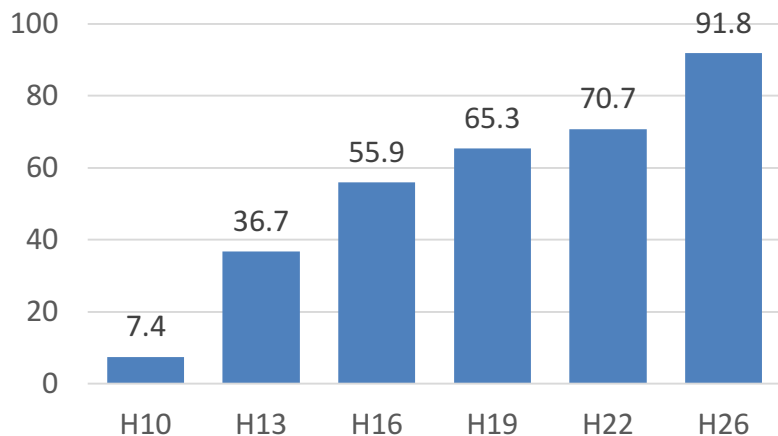


## ⑦図書館の情報化

図書館の情報化が進んでいるが、一部の図書館では未だ整備が十分でない状況。

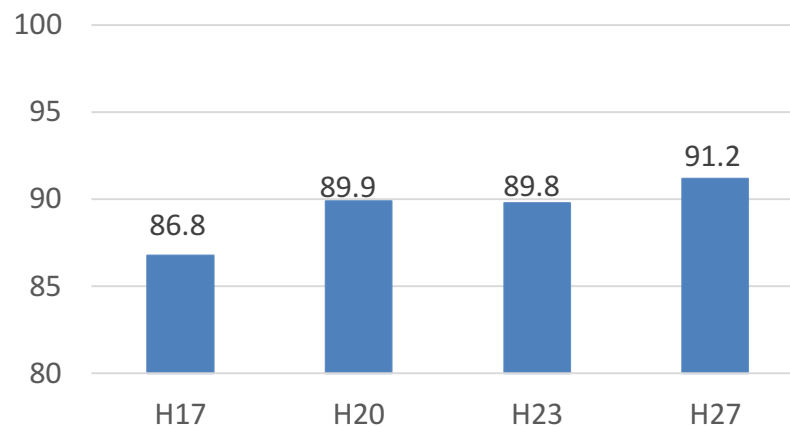
### ア) 図書館のHP開設率(%)

社会教育調査, 社会教育統計(文部科学省) 発表年度の前年度間を調査



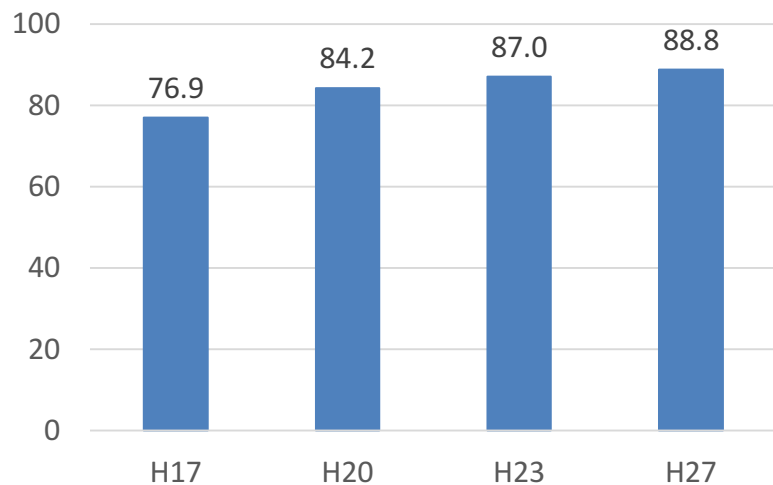
### ウ) 図書館の来館者利用コンピューター設置率(%)

社会教育調査, 社会教育統計(文部科学省)



### イ) オンライン閲覧目録(OPAC)の導入率(%)

社会教育調査, 社会教育統計(文部科学省)



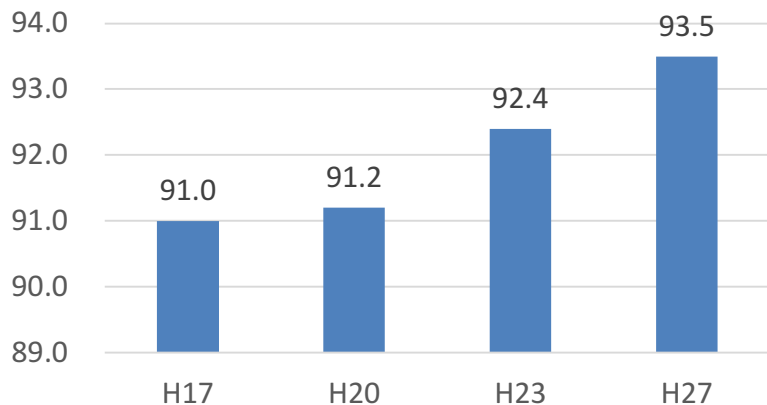


## ⑧障害のある子供のための諸条件の整備

H27において、バリアフリー設備を導入する図書館は93.5%に上るものの、録音図書を所有する図書館は20.2%、点字図書等を所有する図書館は39.4%、拡大図書器・拡大鏡を所有する図書館は49.1%にとどまっている。

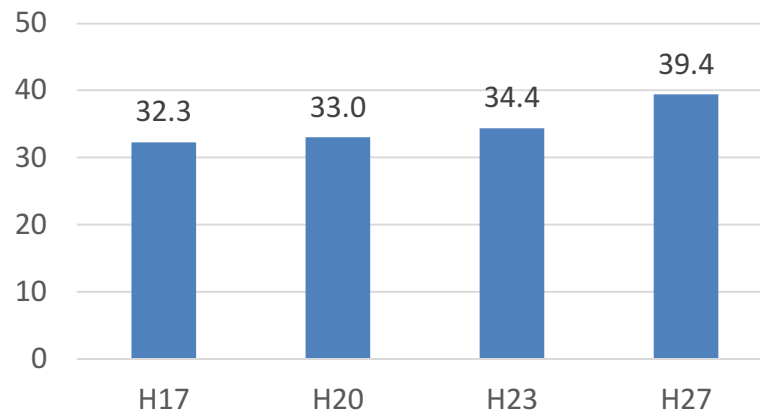
### ア) 図書館のバリアフリー設備導入率(%)

社会教育調査, 社会教育統計(文部科学省)



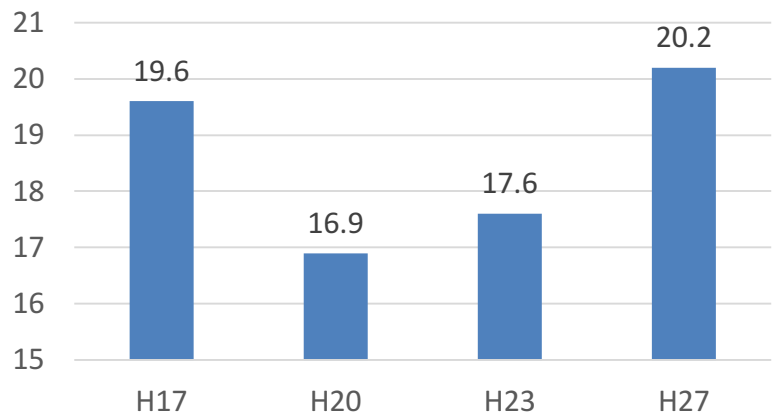
### ウ) 図書館の点字図書等所有率(%)

社会教育調査, 社会教育統計(文部科学省)



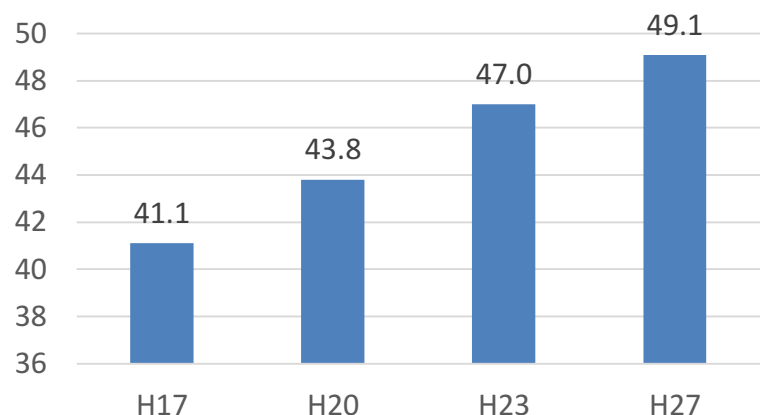
### イ) 図書館の録音図書所有率(%)

社会教育調査, 社会教育統計(文部科学省)



### エ) 図書館の拡大読書器・拡大鏡所有率(%)

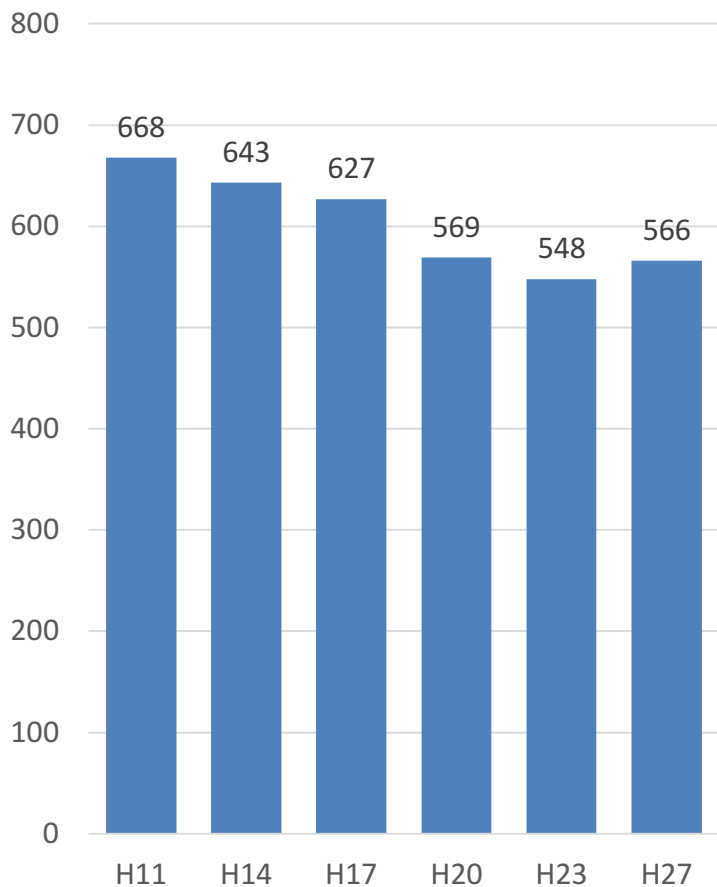
社会教育調査, 社会教育統計(文部科学省)



## ⑨移動図書館の設置

全体数は600台前後で推移し、その多くを市(区)が保有している。

ア) 全国の自動車文庫の台数 社会教育調査, 社会教育統計(文部科学省)



イ) 自動車文庫の設置状況 平成27年度社会教育統計(文部科学省)

区分	保有台数								
	計	都道府県	市(区)	町	村	組合	法人※	日本赤十字社	
全国	566	3	450	109	3	—	1	—	
北海道	56	—	22	34	—	—	—	—	
青森	6	—	4	2	—	—	—	—	
岩手	63	—	53	10	—	—	—	—	
宮城	14	—	12	2	—	—	—	—	
秋田	3	—	3	—	—	—	—	—	
山形	9	—	7	2	—	—	—	—	
福島	12	1	8	3	—	—	—	—	
茨城	4	—	4	—	—	—	—	—	
栃木	6	—	3	3	—	—	—	—	
群馬	4	—	3	1	—	—	—	—	
埼玉	14	—	11	3	—	—	—	—	
千葉	11	—	11	—	—	—	—	—	
東京	9	—	7	1	1	—	—	—	
神奈川	10	—	9	1	—	—	—	—	
新潟	8	—	7	1	—	—	—	—	
富山	7	—	6	1	—	—	—	—	
石川	9	—	7	2	—	—	—	—	
福井	2	—	2	—	—	—	—	—	
山梨	1	—	1	—	—	—	—	—	
長野	21	—	11	8	2	—	—	—	
岐阜	3	—	3	—	—	—	—	—	
静岡	19	—	19	—	—	—	—	—	
愛知	6	—	6	—	—	—	—	—	
三重	3	—	3	—	—	—	—	—	
滋賀	11	—	10	1	—	—	—	—	
京都	8	—	7	1	—	—	—	—	
大阪	25	—	25	—	—	—	—	—	
兵庫	10	—	8	2	—	—	—	—	
奈良	6	—	5	—	—	—	1	—	
和歌山	8	—	6	2	—	—	—	—	
鳥取	13	—	6	7	—	—	—	—	
島根	2	—	2	—	—	—	—	—	
岡山	17	—	17	—	—	—	—	—	
広島	14	—	13	1	—	—	—	—	
山口	15	—	13	2	—	—	—	—	
徳島	5	—	4	1	—	—	—	—	
香川	6	—	6	—	—	—	—	—	
愛媛	11	—	10	1	—	—	—	—	
高知	6	1	4	1	—	—	—	—	
福岡	18	—	16	2	—	—	—	—	
佐賀	4	—	4	—	—	—	—	—	
長崎	9	—	6	3	—	—	—	—	
熊本	19	—	16	3	—	—	—	—	
大分	12	—	12	—	—	—	—	—	
宮崎	9	1	8	—	—	—	—	—	
鹿児島	28	—	22	6	—	—	—	—	
沖縄	10	—	8	2	—	—	—	—	

※一般社団法人・一般財団法人・公益社団法人・公益財団法人

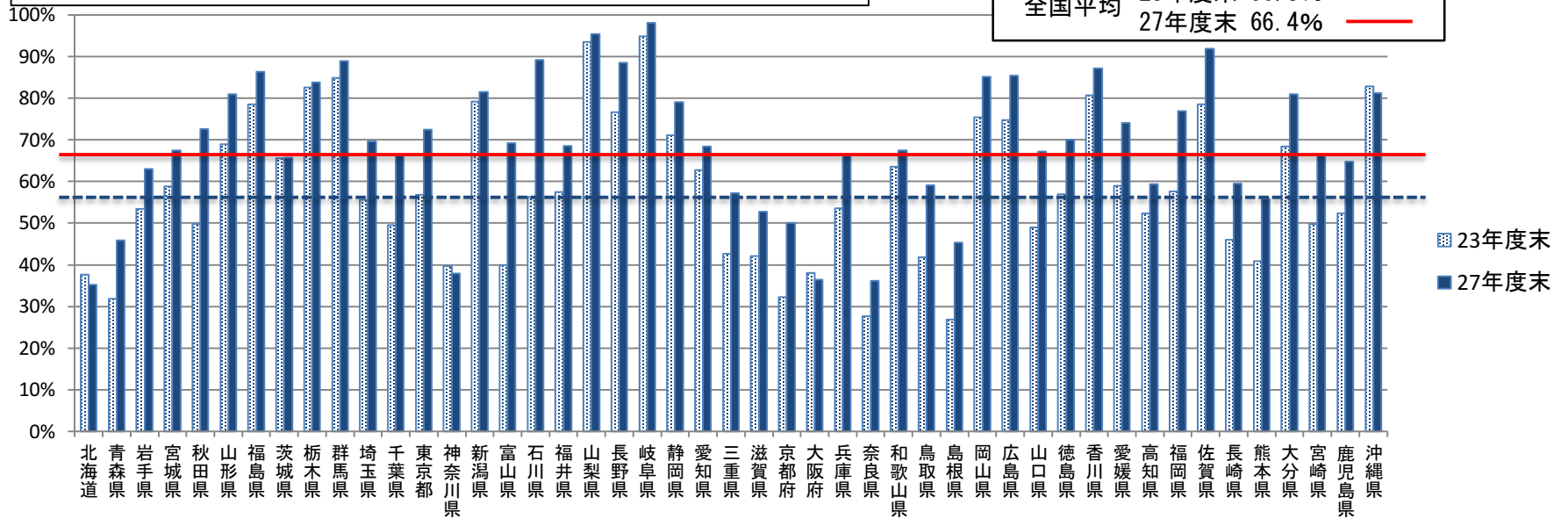
# 3. 学校図書館

## ① 都道府県別・小学校の学校図書館図書標準の達成状況(公立)

平成24・28年度学校図書館の現状に関する調査(文部科学省)

H23と比較して多くの都道府県が改善傾向にあるが、全体としては未だ達成が十分でない状況。

全国平均  
23年度末 56.8%  
27年度末 66.4%

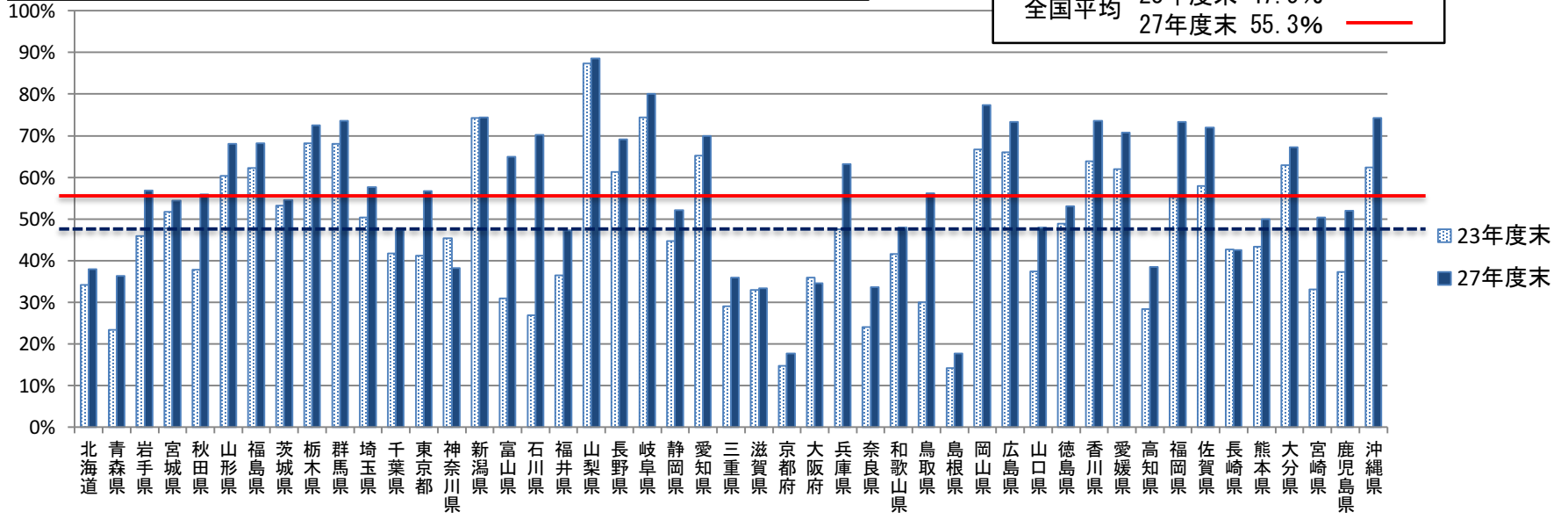


## ② 都道府県別・中学校の学校図書館図書標準の達成状況(公立)

平成24・28年度学校図書館の現状に関する調査(文部科学省)

H23と比較して多くの都道府県が改善傾向にあるが、全体としては未だ達成が十分でない状況。

全国平均  
23年度末 47.5%  
27年度末 55.3%



### ③司書教諭の発令状況(国公立)

平成28年度学校図書館の現状に関する調査(文部科学省)  
(平成28年4月現在) ( )内は平成24年5月現在

司書教諭の発令は、12学級以上のほとんどの学校で行われており、11学級以下の学校においても増加傾向にある。

#### ア)全体

	学校数	発令学校数	発令率(%)
小学校	19,945 (20,980)	13,557 (13,543)	68.0 (64.6)
中学校	10,255 (10,495)	6,663 (6,422)	65.0 (61.2)
高等学校	4,927 (5,001)	4,165 (4,159)	84.5 (83.2)

#### イ)12学級以上

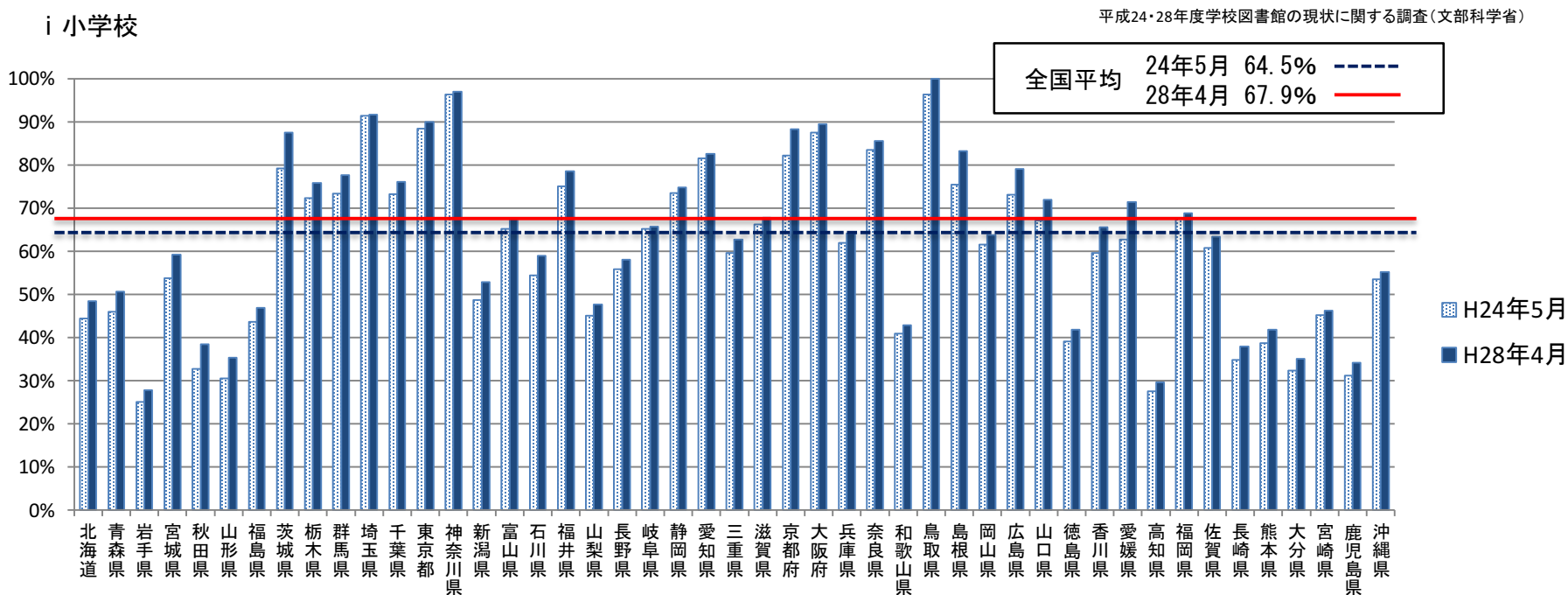
	学校数	発令学校数	発令率(%)
小学校	11,092 (11,271)	11,017 (11,227)	99.3 (99.6)
中学校	4,976 (4,997)	4,893 (4,916)	98.3 (98.4)
高等学校	3,983 (4,097)	3,828 (3,930)	96.1 (95.9)

#### ウ)11学級以下

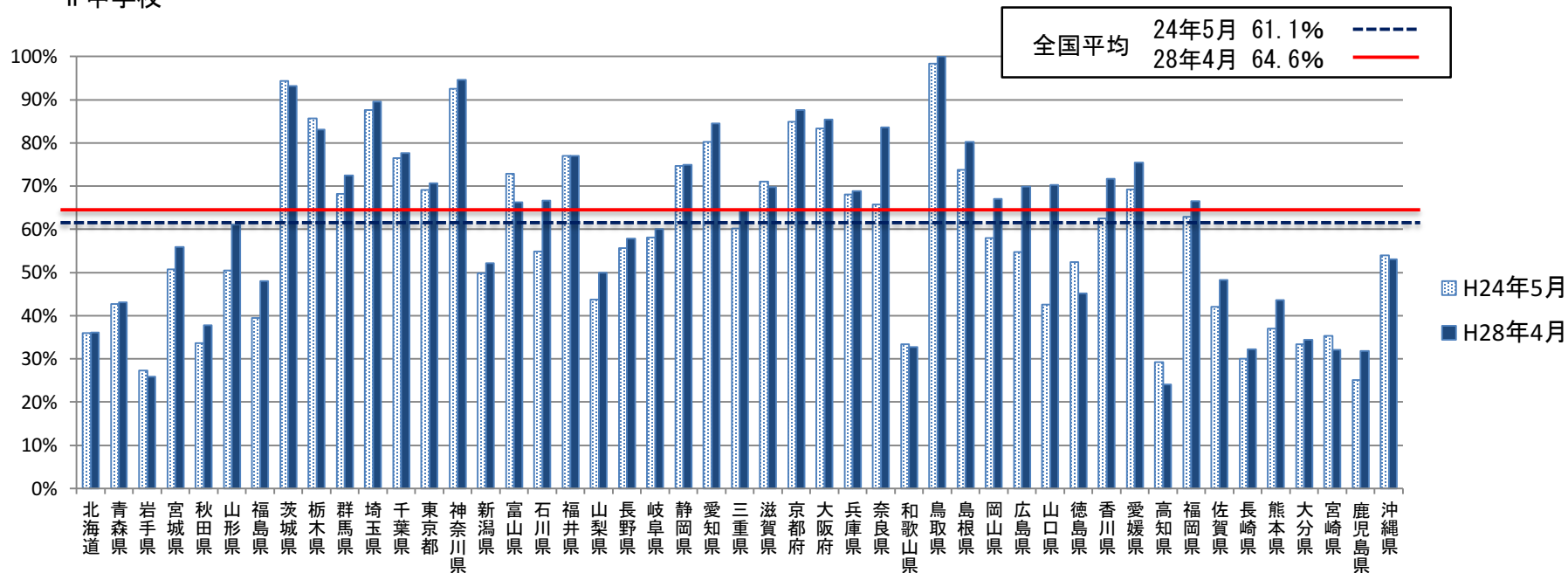
	学校数	発令学校数	発令率(%)
小学校	8,853 (9,709)	2,540 (2,316)	28.7 (23.9)
中学校	5,279 (5,498)	1,770 (1,506)	33.5 (27.4)
高等学校	944 (904)	337 (229)	35.7 (25.3)

#### エ)都道府県別の司書教諭発令率(公立)

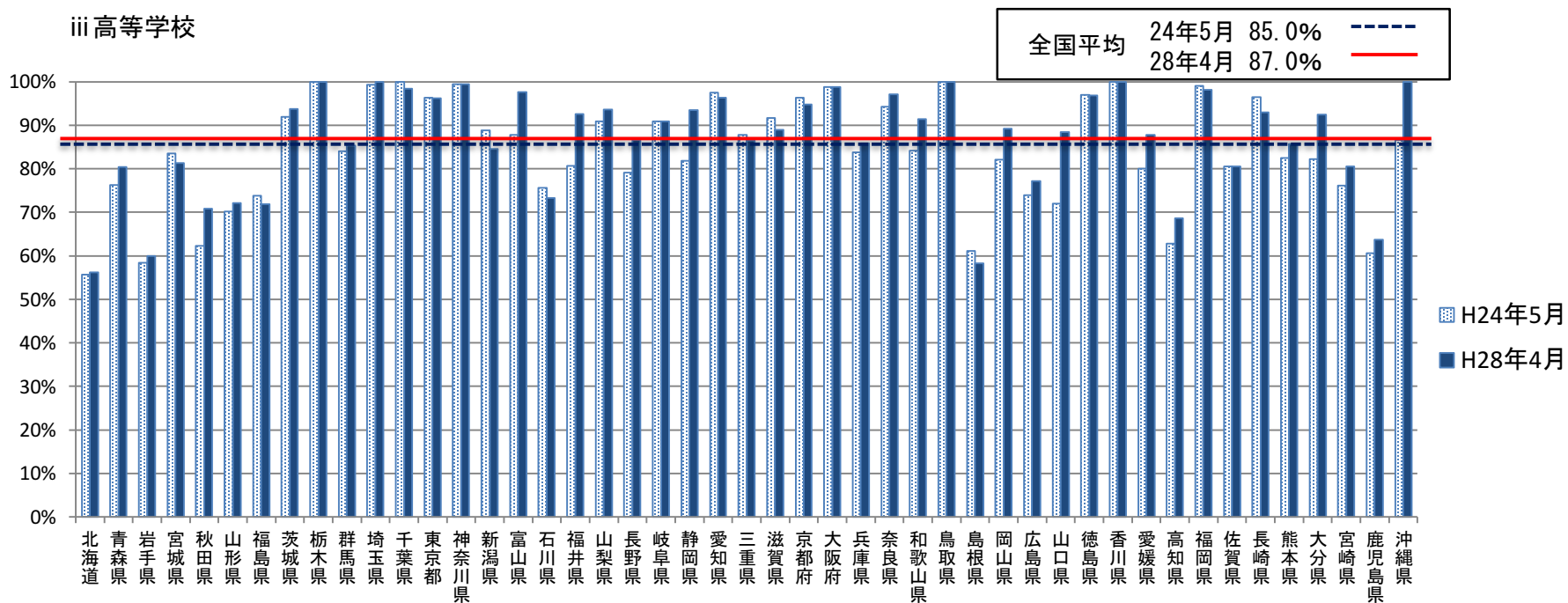
##### イ 小学校



## ii 中学校



## iii 高等学校



④学校司書の配置状況(国公立)

平成28年度学校図書館の現状に関する調査(文部科学省)  
(平成28年4月現在) ( )内は平成24年5月現在

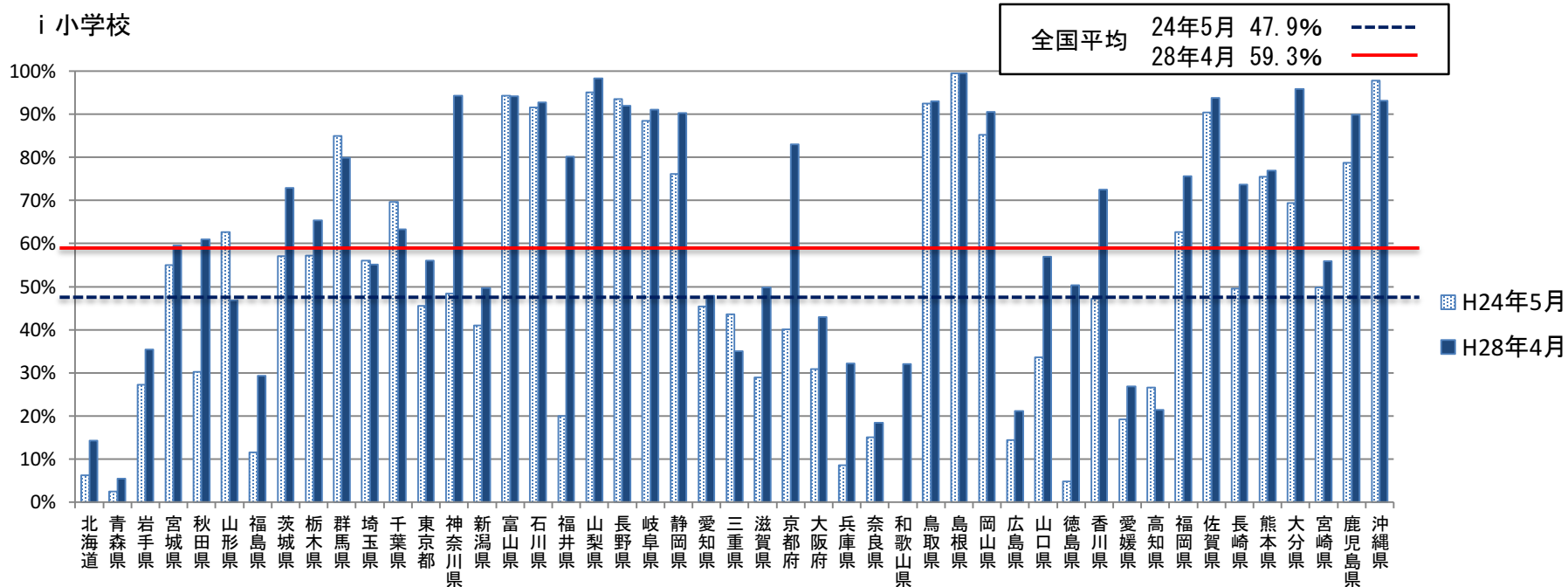
小学校, 中学校, 高等学校それぞれ6割前後の学校で配置されている。小学校, 中学校においては増加傾向にある。

ア) 全体

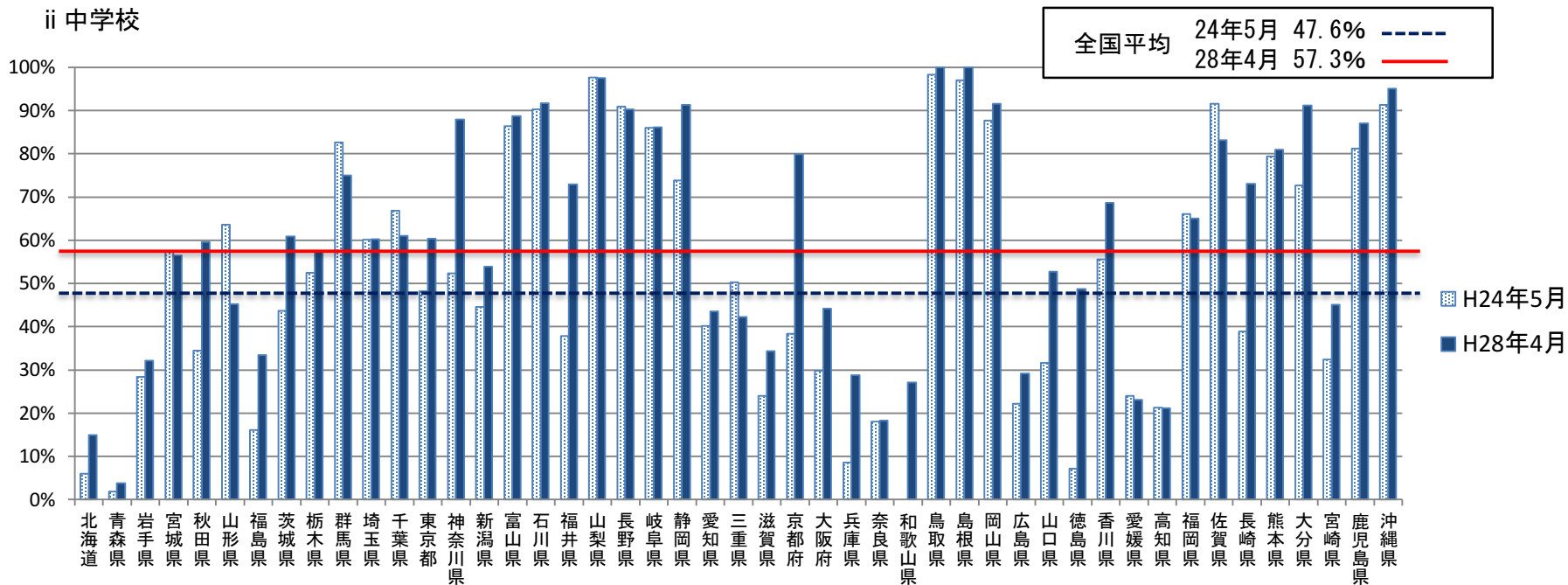
	学校数	配置学校数	割合(%)
小学校	19,945 (20,980)	11,803 (10,037)	59.2 (47.8)
中学校	10,255 (10,495)	5,969 (5,056)	58.2 (48.2)
高等学校	4,927 (5,001)	3,279 (3,387)	66.6 (67.7)

イ) 都道府県別の学校司書の配置率(公立)

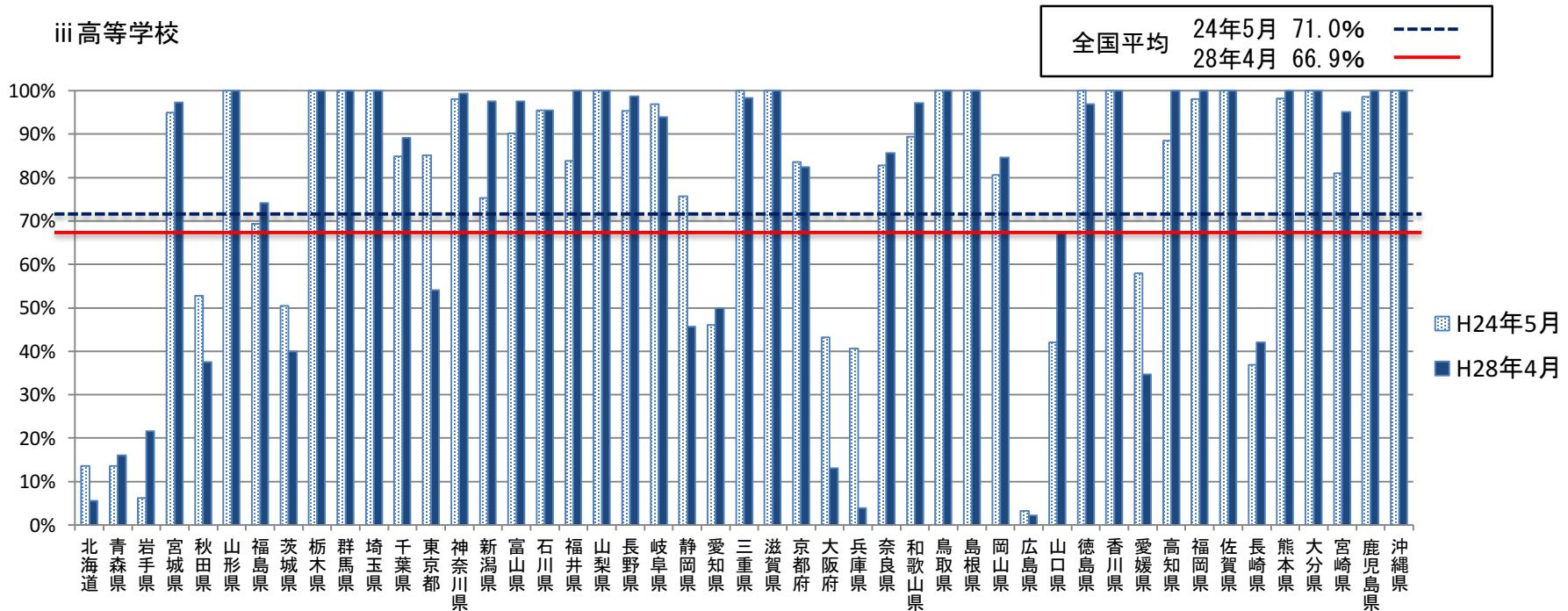
平成24・28年度学校図書館の現状に関する調査(文部科学省)



## ii 中学校



## iii 高等学校



## ⑤全校一斉読書活動の状況(公立)

平成28年度学校図書館の現状に関する調査(文部科学省)  
(平成27年度末現在) ( )内は平成24年5月現在

小学校、中学校、高等学校それぞれ増加傾向にあるが、高校は小学校、中学校と比較して割合が低い。

	学校数	実施学校数	割合(%)
小学校	19,604 (20,693)	19,038 (19,957)	97.1 (96.4)
中学校	9,427 (9,720)	8,341 (8,572)	88.5 (88.2)
高等学校	3,509 (3,602)	1,499 (1,470)	42.7 (40.8)

## ⑥新聞の配備状況(公立)

平成28年度学校図書館の現状に関する調査(文部科学省)  
(平成27年度末現在)

高等学校では9割を超える学校で配備されているが、小学校、中学校では5割に満たない状況となっており、新聞を活用した学習を行うための環境が十分には整備されていない。

	学校数	配備学校数	割合(%)
小学校	19,604	8,061	41.1
中学校	9,427	3,557	37.7
高等学校	3,509	3,194	91.0

## ⑦学校図書館の情報化

平成28年度学校図書館の現状に関する調査(文部科学省)  
(平成27年度末現在)

学校図書館の情報化については、未だ整備が十分でない状況。

### ア)学校図書館と情報メディア機器活用部屋の一体整備率(公立)

	学校数	整備学校数	割合(%)
小学校	19,604	2,464	12.6
中学校	9,427	772	8.2
高等学校	3,509	163	4.6

### イ)学校図書館の情報メディア機器整備率(公立)

	学校数	整備学校数	割合(%)
小学校	19,604	2,070	10.6
中学校	9,427	1,174	12.5
高等学校	3,509	1,671	47.6

### ウ)学校図書館の図書情報データベース化実施率(公立)

	学校数	整備学校数	割合(%)
小学校	19,604	14,495	73.9
中学校	9,427	6,852	72.7
高等学校	3,509	3,204	91.3

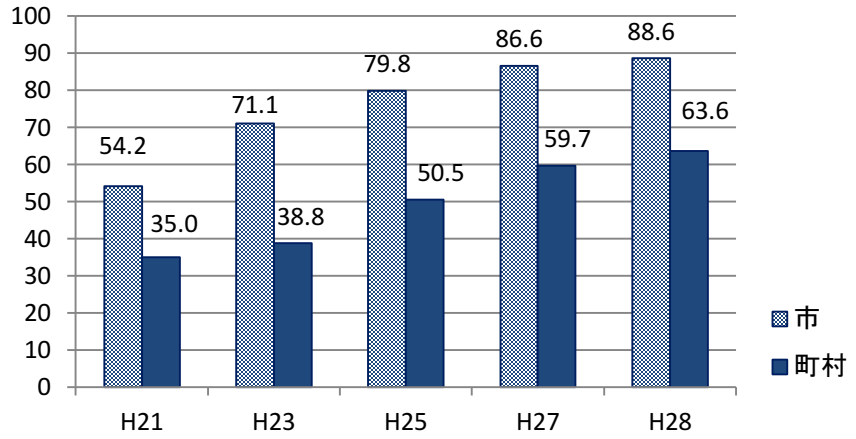


# 4. 子ども読書活動推進計画

## ①市町村推進計画の策定率(%)

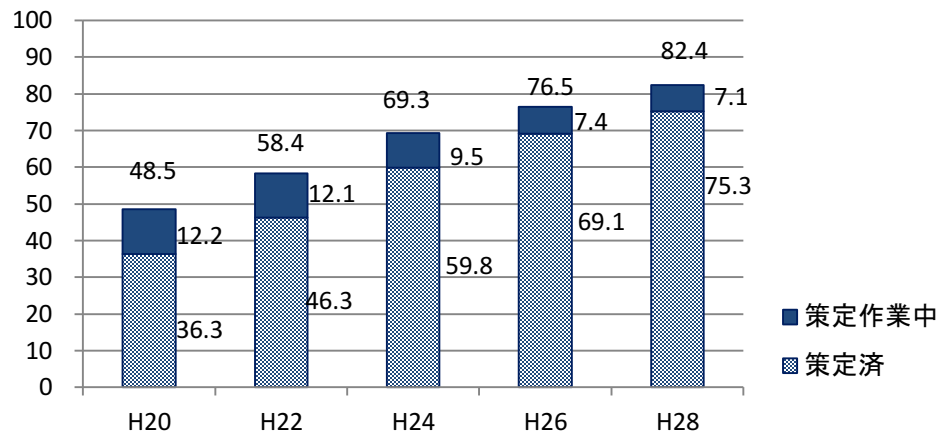
都道府県及び市町村における「子ども読書活動推進計画」の策定状況に関する調査(文部科学省)

市, 町村ともに改善しているが, 第三次基本計画で定めた目標(市100%, 町村70%以上)には達しておらず, とりわけ町村の策定率が低い。



## ②市町村子ども読書活動推進計画の策定状況(%)

都道府県及び市町村における「子ども読書活動推進計画」の策定状況に関する調査(文部科学省)

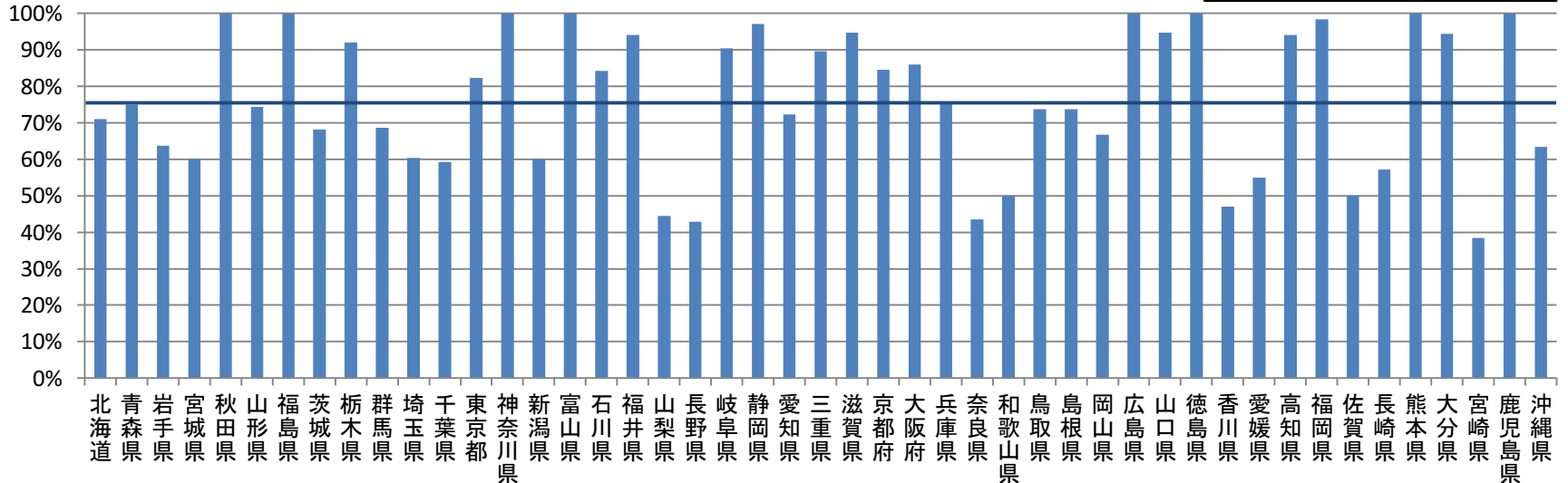


## ③都道府県別・市町村計画の策定率

平成28年度都道府県及び市町村における「子ども読書活動推進計画」の策定状況に関する調査(文部科学省)

都道府県によりばらつきが見られる。

全国平均 75.3%

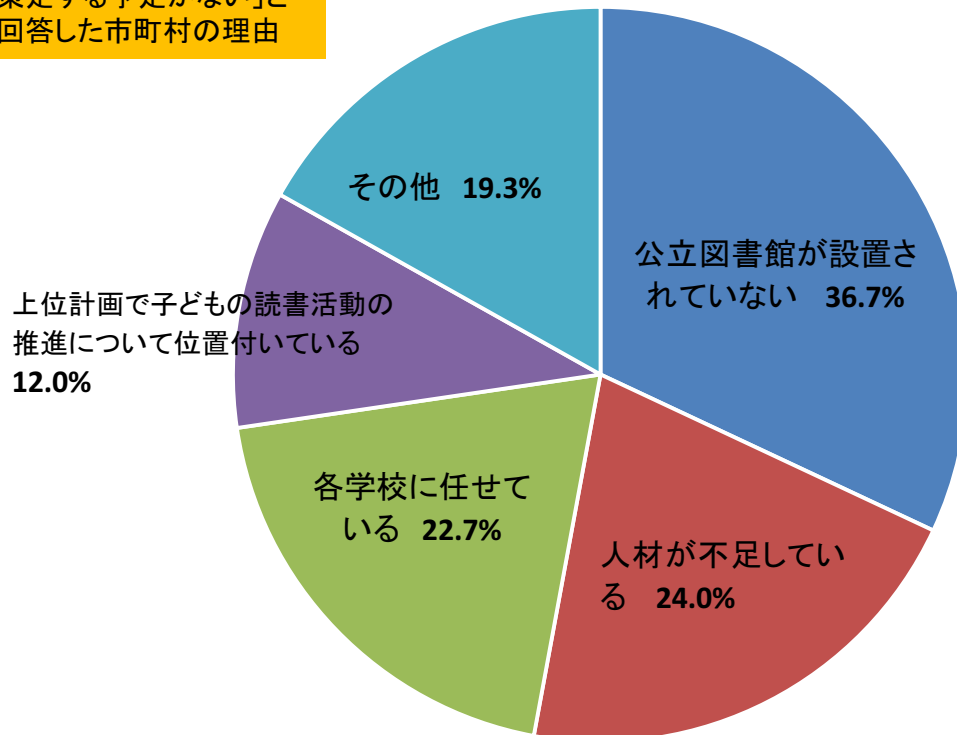


④子供の読書活動推進計画を策定していない理由(複数回答)

平成28年度都道府県及び市町村における「子ども読書活動推進計画」の策定状況に関する調査(文部科学省)

「図書館を設置していない」、「(市町村推進計画を策定し、これに基づき施策を行う)人材が不足している」などが挙げられている。

「子供の読書推進計画を策定する予定がない」と回答した市町村の理由

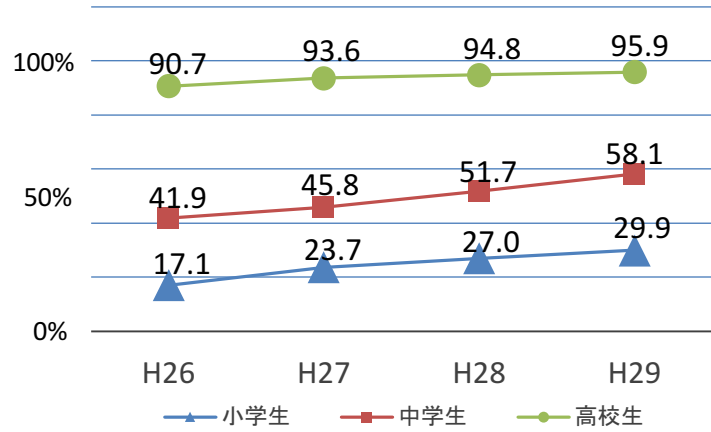


# 5. その他

## ① 青少年のスマートフォンの利用率(%)

青少年のインターネット利用環境実態調査(内閣府)

年々増加しており、特に高校生は高い割合となっている。



## ② 青少年のスマートフォンの利用時間(平日1日あたり)

青少年のインターネット利用環境実態調査(内閣府)

スマートフォンの利用時間は学校種があがるとともに長時間傾向。



わからない
  使っていない
  1時間未満
  1時間以上2時間未満
  2時間以上3時間未満
  3時間以上5時間未満
  5時間以上

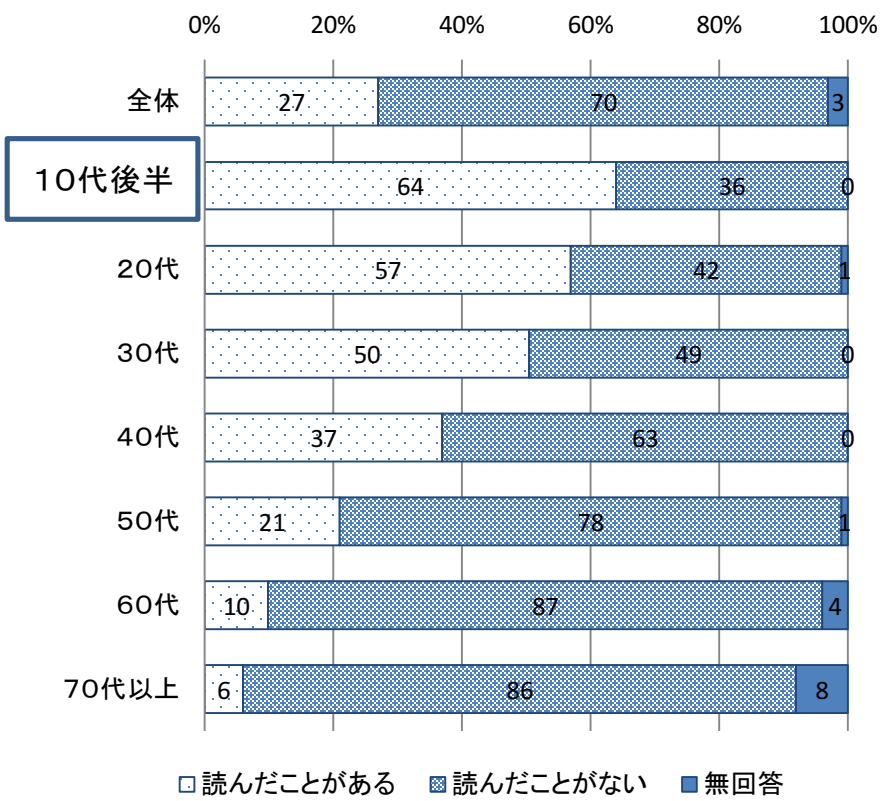
※    は2時間以上利用している割合

## ③ 電子書籍での読書(%)

第70回読書世論調査(株式会社毎日新聞社)

若い世代ほど「電子書籍を読んだことがある」と回答した割合が高く、10代後半では6割を超えている。

問 携帯端末やパソコンなどで本が読める「電子書籍」が話題になっています。あなたは電子書籍を読んだことがありますか。



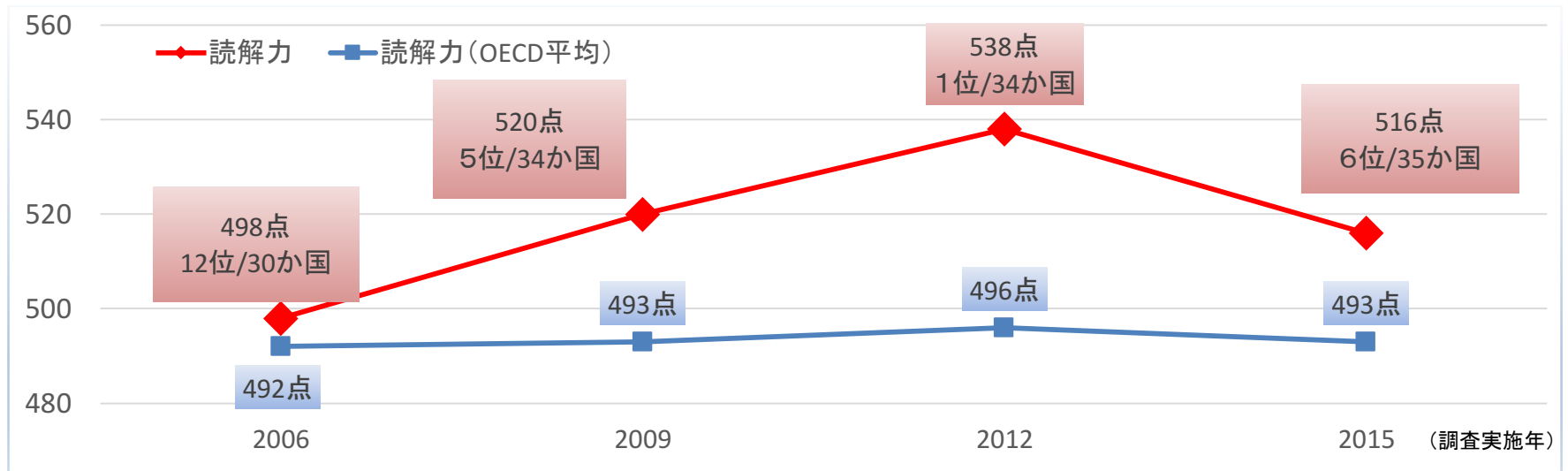
読んだことがある
  読んだことがない
  無回答

#### ④OECD生徒の学習到達度調査(読解力)

生徒の学習到達度調査(OECD)

国際的に見て上位となっている一方、2015年調査では2012年調査と比較して読解力の平均得点が有意に低下している。

(平均得点)



#### ⑤子供の読書活動優秀実践校・図書館・団体(個人)文部科学大臣表彰件数

件数	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	合計
学校	137	141	135	141	134	688
図書館	47	43	45	48	50	233
団体	53	51	48	58	49	259
個人	4	4	7	0	5	20
合計	241	239	235	247	238	1,200

#### ⑥全国の読書グループ<sup>※</sup>数 (活動対象図書を子供の本とするもの)

全国読書グループ総覧(公益社団法人読書推進運動協議会)

2008年調査  
6,267グループ



2013年調査  
9,086グループ

※その活動の主な内容が読書や読書に関する活動をするもので、以下のとおり。  
読書会、研究会、実演G(グループ)、文庫、読書支援、環境整備、友の会、連絡会